稲城野草散策の会

野草スケッチ ノササゲ(マメ科)



1996/07/19

稲城市押立

絵と文 Ta

先日、観察会でノササゲの葉を見ていたら「ミツバアケビですか」と訊ねられた。 「いや、ノササゲです」と答えながら、内心「ああ、やっぱり」とうなづくもの があった。

初心の頃、私も同じ間違いをやったことがあるのだ。あの頃の私と同じ人がいる、と思った。

会報第9号 2005年9月10日発行 発行責任者 尼子 房夫

たしかにミツバアケビとノササゲの葉は形が似ている。3枚が1組の複葉で、大きさも同じくらいだ。

蔓植物なので林の縁など、似たような場所に生えている。しかしノササゲの葉は 薄くて粉白色を帯びているし、葉の縁にぎざぎざ(鋸歯)はない。

慣れればすぐにわかることでも、全体を見て部分を確かめて瞬時に判断することは初心者にとっては難しいことなのかもしれない。

秋、ノササゲの実をよく見かける。マメ科なので、当然、莢に入っている。その 莢がきれいな紫色をしていて、目立つのである。

晩秋になれば、莢は割れて中の種子はなくなっている。残った莢はねじれていて、 螺旋になった形も面白い。

ねじれるときの力で種子をはじき飛ばすらしい。

植物には移動のチャンスが2回ある・・・これは田中肇さんの受け売りだ。 1回目は花粉を飛ばすことによって遺伝子を遠くへ運ぶ。 2回目は種子の散布である。

できるだけ遠くへ移動して、育つ環境のバラエティを広げておけば、何らかの影響で環境が変わっても、生き延びる確率を高めることができる。

地球規模で見れば、長い歴史の中で寒冷化・温暖化の繰り返しがあった。

ミクロ的な環境でも洪水、土砂崩れ、乾燥化、他の植物との競合、動物による食害など、たくさんの要因が植物に対して「住みやすさ」を変化させる。

同じ種類が同じ場所に固まっていたら、危機が訪れたときに全滅してしまうだろう。

植物の危機管理能力は、どこかの国の政府よりも、ずっと巧みだと思う。

種子散布の方法も実にバラエティに富んでいる。

タンポポのようにパラシュートをつけて風の力を利用するもの。

クルミのように水辺に咲いて水流を利用するもの。

カマツカなどのように果実を鳥に与えて運んでもらうもの。

スミレのように特殊な匂いを出してアリに運ばせるもの。

などなど、植物が行ってきた工夫を見ることができる。

マメ科の場合は風には乗りにくい。鳥に食べられたら消化されてしまう。昆虫もかじるだけで運んでくれそうもない。

そこで取った手段が、自力で弾き飛ばすことだったのだろう。 莢は若い種子を守るガードマンであり、熟せばピッチングマシンに変身するのだ。

植物の種子散布については、一部では詳しく調べられているが、全体的にはまだ情報が非常に少ないのだそうだ。

いまならアマチュアが気楽に踏み込める分野なので、どなたかやってみませんか・・・と田中さんが呼びかけておられた。

10年もやれば、ベテランとして評価されるのでは、ということである。

どなたか、挑戦されるかたはおられないものだろうか。



〔観察記録〕8月28日 多摩弾薬庫

「多摩サービス補助センター」(タマ・ヒル・レクリェーション・センター) 内に入る前の大丸公園では、割と丁寧に歴史・自然についての話が出来たかな、と思っているのですが、いざ、中に入ってみると、想像以上に行動範囲が制限され、物足りなさを感じた方も多いかと存じます。

来年もオフを実施するとすれば、午前中近くの「城山公園」など、周辺で観察をし、午後、上手なバンドなどが登場する頃、入場してくつろいで解散する、などの案が出ています。

いずれにしても、多摩丘陵の自然・歴史のタイムカプセルのような場所として、 意識しておきたい場所ではあります。

★当日配布した資料について

さて、当日は思いの外、多く方の参加があり、歴史資料が足りなくなりました。 お手元にいかなかった方、誠に申し訳ありませんでした。そこで、「当日参加され た方」で、資料の行き渡らなかった方、お手数ですが、申し出て下さい。郵送で お送りしたいと思います。(郵送でなくとも、次回以降の観察会・オフ会での受け 取りでもよろしい、ということであれば、その旨も記して頂ければ幸いです。)

不手際、申し訳ありませんでした。m (__) m (めりべ)

〔観察記録〕9月8日 嵐山渓谷下見

好天気の中、嵐山渓谷の下見に行って来ました。嵐山渓谷を抜けて、蝶の里公園の中を観察しました。特別なものはありませんが、マメ科の植物を初めいろいるものが観察できます。群生しているものが目立ちました。(FAM)

いや~、暑かったですね。終わってからのビールがうまかったこと(^_^;) とくに目新しいものはありませんでしたが、普段見慣れているはずの植物もフィールドが変わると微妙に違って見えたりして、結構新鮮でした。

予想通りマメ科の植物がたくさん出てきて、用意した資料以外にも花がいろいろありました。10日は大勢の目で見ればさらに多くの種類が出てくるかもしれませんね。(Ta)

それにしても暑かったですね。終わってからのビールがうまかったこと;(^^);本来は、あのように色々な植物が身の回りの森や川岸には沢山あったのだなと思い、身の回りの植生の変化にいまさらのように驚きました。(hide)

とにかく、暑かった!道中、日影は少ないし、アスファルトの道を歩く距離が長いし・・。もちろん、要所要所に良い場所は、沢山ありましたが・・・。9/10に参加を予定されている方は、(もちろん天候しだいですが) そのあたり、御覚悟のほど、御願い致します。(・・・と、ちょっと脅かしたりして^^;) さて、今回の印象記録・・・。

Taさんが書かれているとおり、マメ科の植物は色々見ることが出来ると思います。それ以外に、「モクゲンジ」の実、「ウマノスズクサ」の花、「アオハダ」の実など、印象的でした。また、嵐山渓谷の緑地では、シダ類を多数見ることが出来ます。シダ好きの人にはお勧めかな。

昆虫では、なんと言ってもトンボ類。渓流周辺では、無数の「ハグロトンボ」が飛び回っていました。それに、アカトンボ類のオンパレード。「アキアカネ」「ナッアカネ」「ミヤマアカネ」「マユタテアカネ」「ノシメトンボ」「ウスバキトンボ」などなど・・。

それにしても、ビールとアイスキャンディー、マッコルリと焼きサンマの美味しさが最も印象的なー日でした。(^。^)(めりべ)

先日の下見オフで、話題になった謎の木の正体が 判明しました。

チタルパ・ピンク・ドーン。アメリカキササゲと 近縁種の属間雑種だそうです。

なるほど!現場で3輪生であることに目をつけられたsigeさん、そして、ノウゼンカズラ科であることを看破されたTaさん、お見事でした。(めりべ)



〔フローラオフ〕2005/09/22(木)横沢入下見

9/25の定例観察会で予定している「横沢入」はかつてJRが宅地開発する という目的で買い占めたのですが、開発は中止されました。谷戸があり谷間から の湧き水があり小川が流れ田んぼがあったり休耕田になったりしているところも あります。ある年には休耕田を埋め尽くしてツリフネソウが咲いていました。

トンボなどの昆虫も多く、豊かな生態系が多くの人々を魅了しているところです。とはいえ、最近の状況については把握していません。そこでいつものように下見オフを行ないたいと思います。いつもの下見と同様に、道に迷ったり判らないものが出て戸惑ったりするかもしれません。

ま、その辺も下見オフの楽しさと心得て、覚悟の上で(^_^;)お出かけください。 たくさんの方のご参加をお待ちしています。

【日 時】2005年9月22日(木)10時~16時頃まで。※小雨決行

【場 所】東京都あきる野市

【集 合】JR五日市線武蔵増戸(むさしますこ)駅 午前10時 ※会旗目標

【交 通】立川9:23→武蔵増戸9:53か、立川9:05→武蔵増戸9:35

【コース】武蔵増戸駅〜踏切〜大悲願寺〜横沢入(昼食)〜林道〜三内〜 武蔵五日市駅 (15時頃)(トイレは駅と途中の大悲願時にあります) 行程:約4~5km。標高差:MAX100m程度

【持ち物】昼食、飲み物、雨具。あれば双眼鏡、ルーペ、図鑑など

【申込み】飛び入りでもかまいませんが、HPの「おしゃべりるーむ」に案内を 出しますので、「返信」にてお申込みください。インターネットが使え ない方は、本日申し込むか、電話でご連絡下さい。

連絡先: Ta(広沢) 080-3287-7687

【参加費】300円(保険、資料代)

【幹事】Ta(広沢)

【その他】・コースは楽ですが、足元はしっかりと

- ・マメ科、カヤツリグサがいろいろ出そうなので、資料を用意します
- ・ささやかは立川へ戻って、となりそうです

〔フローラオフ〕2005/09/24(土)「カヤツリグサ入門」

いつも苦手なカヤツリグサと仲良くなろう

昨年も実施して好評だったカヤツリグサ入門オフを今年もやります。カヤツリグサの仲間はどれも地味でみんな似たように見えます。嫌いな人、見ても見ない振りをする人も多いのではないでしょうか。

かつては私もそうでした。が、覚えるにつれ違いがわかってきて、さらに興味が広がります。とはいっても、まだ修行中の身でいつもフィールドでは戸惑ったり悩んだりしています。一人で悩むより、大勢でわいわいやったほうが楽しいし、新しい発見も期待できます。ということでカヤツリ入門オフなのです。

【日 時】2005年09月24日(土)10時~16時くらい ※小雨決行

【場 所】東京都稲城市

【集 合】京王相模原線稲城駅改札口付近。午前10時 ※会旗目標

【交 通】京王調布駅から橋本行(各停)で10分弱。10分間隔で出ています

【コース】稲城駅~百村~三沢川遊歩道~薄葉谷戸~三沢川岸辺~稲城中央公園 (昼食)~甚五谷戸~清水谷戸~駒沢学園広場~三沢川~稲城駅(解散)

【申込み】参加を希望される方は、おしゃべりる一むにて表明下さい。または広 沢あてにメール願います(飛び入り可)。インターネットが使えない方 は、本日申し込むか、電話でご連絡下さい。

連絡先: Ta (広沢) 080-3287-7687

【履 物】★長靴(または汚れを覚悟で履き替えの靴持参)

【持ち物】昼食、飲み物、雨具、8倍以上のルーペ(必須)

【参加費】300円(保険代、資料代ほか)

【幹事】広沢(Ta)

【その他】・カヤツリグサ、チャガヤツリ、コゴメガヤツリ、アゼガヤツリ、 カワラスガナ、イガガヤツリ、コアゼガヤツリなどが登場予定

> ・更にテンツキ、ヒデリコ、ヒメヒラテンツキ、メアゼテンツキの ほか、ヒンジガヤツリ、ヌマガヤツリ、ヒメクグ、ウシクグ、 キンガヤツリにも出演交渉中

[行事予定] 2005/10/09(日) 鎌倉

項目	説 明
集合	am10時、湘南モノレール線西鎌倉駅 ※会旗目標
交 通	湘南モノレール線大船駅9:45→西鎌倉9:54(4駅目)
行く先	西鎌倉駅…(詳細未定)…鎌倉駅4時ごろ解散予定
(解散場所)	
見所・その他	野菊、カヤツリグサ
地図	詳細未定
コース	(案) 西鎌倉駅…龍□明神社…鎌倉山の碑…仏行寺…笛田公園…
	大仏切通し…大仏ハイキングコース…源氏山公園…鎌倉駅

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕2005/9/25(日) 横沢入

項目	説 明
集合	am10時、JR五日市線武蔵増戸駅 ※会旗目標
交 通	JR中央線立川駅発9:15(ホリデイ快速あきがわ5号)→武蔵増
	戸駅9:50着が便利
	進行方向に向って後部4両があきがわ号です。前部6両は奥多摩行き
	です。ご注意下さい
行く先	横沢入の林道を歩きます。
(解散場所)	武蔵五日市駅 pm4時頃解散予定
見所	大悲願寺(伊達政宗ゆかりのハギ)、ツリフネソウ、タデ各種、カヤ
その他	ツリグサ各種など
地図	
	西本語 次
コース	武蔵増戸駅〜踏切〜大悲願寺〜横沢入(昼食)〜林道〜三内〜武蔵五
\•\.\.\ .\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\.\	日市駅 5、参加由込み不要、会費当日300円

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕2005/10/23(日) キャンプ村

項目	説明
集合	am10時、京王相模原線若葉台駅 ※会旗目標
	若葉台駅の改札口は一個所だけです
交 通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目
	小田急、多摩モノレールの場合は、多摩センター駅で京王線に乗換
	えて2駅目
	若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先	キャンプ村(一回りして若葉台駅へ戻ります)
(解散場所)	若葉台駅にてpm4時頃解散予定
見所	秋の草花・・・リンドウ、アキノキリンソウ、リュウノウギク、ツ
その他	ルドクダミなど。運が良ければクルマアザミが見られるかも
地 図	上谷戸大橋 坂 海 4 公園 中
コース	若葉台駅→南黒川→日大グランド脇→小田良通り→西小田良谷戸→
	大塚牧場脇→上谷戸大橋下→上谷戸親水公園→第4公園→若葉台駅
	多少のアップダウンがあります
	コースは天候その他により変更する場合があります
	ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円